駒ヶ根市 自治会フォーラム プログラム

～みんなでつくる「こまがねモデル」～

「駒ヶ根市自治組織の在り方検討会」は、令和５年 12 月から９回にわたってグループワークによる会議など開催し、地域の課題や未来について議論を重ねてきました。
令和７年度末を目標に、提言書の取りまとめを予定しています。

【自治会フォーラム次第】

- **１　開会**
- **２　あいさつ　　駒ヶ根市長　伊藤祐三**
  自治会フォーラムの進め方　（事務局）
- **３　これまでの経過説明　　検討会副座長　岡田敦子さん**
- **４　パネルディスカッション　　ファシリテーター　白戸 洋 教授**
- **５　グループディスカッション　　１階各スペース**
  （名札の〇番号と裏面会場図をご参照ください。）
- **６　ディスカッション結果発表　　グループ代表者**
- **７　講評　　白戸 洋 教授**
- **８　市長コメント（期待の表明）**
- **９　閉会**

【ファシリテーター プロフィール】

白戸 洋（しらと ひろし）教授

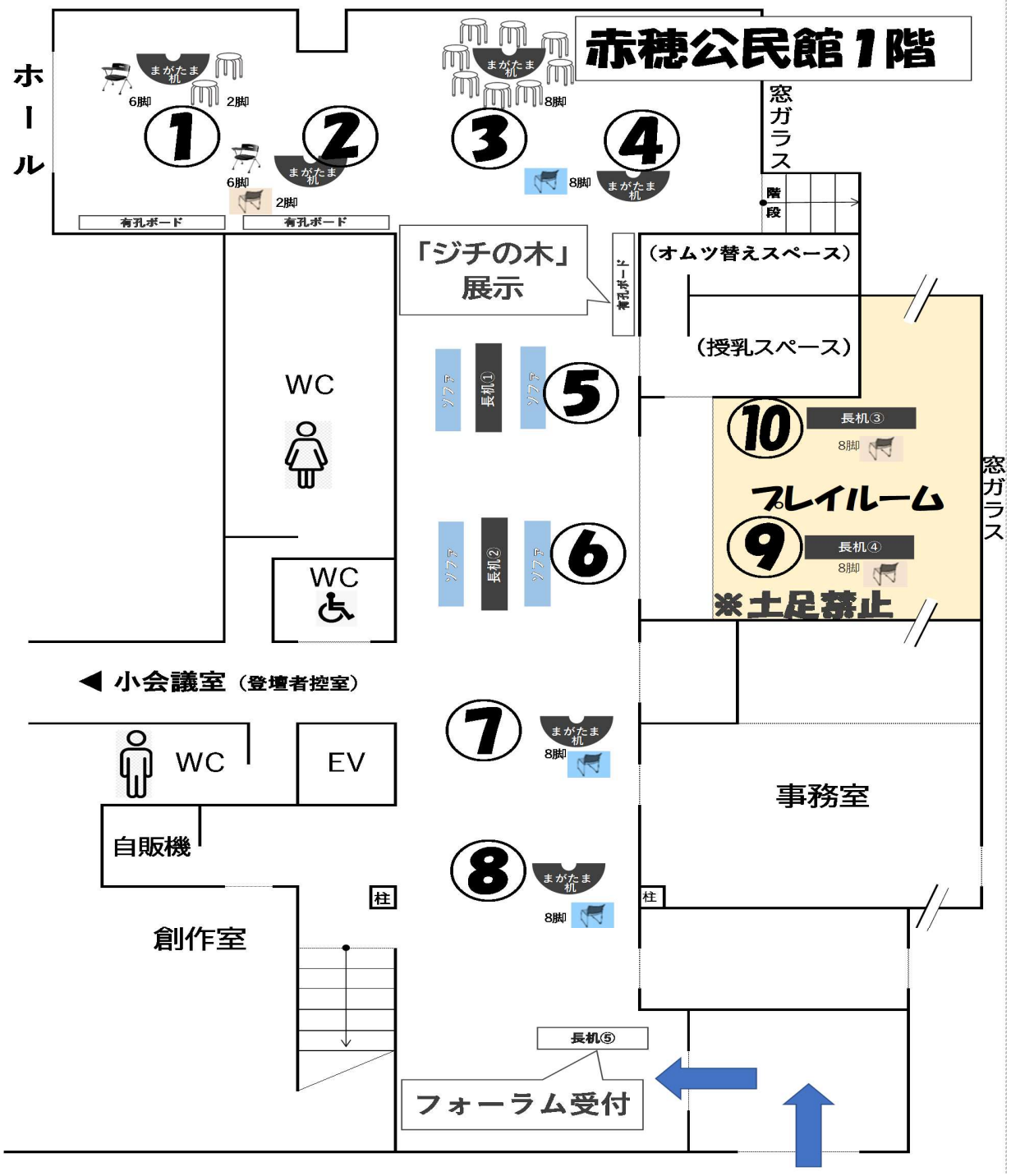
松本大学 総合経営学部 観光ホスピタリティ学科 教授
神奈川県横浜市出身。大学卒業後、政府開発援助（ODA）や国際機関の専門家として、アジアやアフリカにおける地域開発・コミュニティ開発事業に約 10 年間従事。平成３年より長野県松本市に移り、信州の村づくりを学ぶ中で、若者との交流や教育の意義に触れ、教育・研究の道へ。現在は松本大学で、地域政策・住民参加・NPO を専門に、地域づくりの実践と支援に取り組んでいる。
学生と共に地域課題に取り組む授業・実践活動を多数行い、県内各地の自治体や住民組織との協働経験も豊富。朝日村公民館の在り方検討委員会委員長、山形村複合施設整備推進委員会委員などを歴任し、地域の自立と共創を支える姿勢が多くの地域で信頼されている。

【パネリスト】

- 森岡 強 さん（元高校教諭／町一区元区長／検討会座長）
- 林 英之 さん（南割区推薦委員／若手検討会委員）
- 加治木 今 さん（町四区元相談役／元市議会議長／ボーイスカウト・日赤奉仕団）
- 倉田 正清 さん（前福岡区長／前区長会長／天竜川ゆめ会議事務局）
-

【詳細・記録はこちら】

▶ 駒ヶ根市 自治組織の在り方検討会ホームページ：
https://www.city.komagane.nagano.jp/soshikiichiran/somuka/chiikisosho/

＜グループディスカッションの進め方＞【６０分間】＜目安の時間＞
①自己紹介（必要に応じ）　一人１分以内　　【８分】14:15-14:23
②役割決め　進行役（検討会委員）、書記、タイムキーパー、発表者
　発表者を報告用紙にてご報告ください。（１５分経過時に回収させていただきます。）
　　【２分】14:23-14:25
③グループワーク　　【４０分】14:25-15:05
　○出された意見を付箋に書いて模造紙に貼っていく。
　○何回か繰り返す。
　○関連する付箋をグループ分けし、見出しを付けていく
④まとめ　　【１０分】15:05-15:15
　○発表のため模造紙に書き出す

駒ヶ根市自治会フォーラム　グループワーク会場配置図